※令和４年度以降入学生用

学校番号	410

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学演習β	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	リンク数学演習Ⅰ・A（数研出版）、自作プリント等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・自作プリントや副読本を利用して数学ⅠAの復習を行います。
・授業では、内容理解、授業への積極的に取り組む姿勢、提出物を評価の対象とします。
・授業用ノートを準備し、「考える力」を養いましょう。
・板書だけでなく、授業のポイントや自分で気づいたことをメモするようにしましょう。
・看護医療専門学校への進学に向けて、主に過去問を用いての演習となります。

2　学習の到達目標

(1)数学の基本的な原理・法則などを解釈し、処理することができる。
(2)グループワークなど、生徒同士が問題の説明をする中で、表現力を身に付ける。
(3)数学のよさを認識し、数学を活用しようとする。粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数と式、二次関数における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。また、数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付けている。	周りと協働して考えることで、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることができる。他者の意見を取り入れて、批判的に考察し判断することができる。また、問題によって適切な手法を選択し、問題を解決することができる。	数と式、二次関数を通して数学のよさを認識し、数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章　数と式	1　整式とその計算 2　因数分解 3　実数と平方根 4　式の値 5　1次方程式と1次不等式 6　絶対値記号を含む方程式･不等式	a:指数法則や乗法公式を用いて計算することができる。３乗の公式を含めた展開や因数分解ができる。 b:置き換えて展開する問題では、周りの意見に耳を傾けながら、様々な計算方法で計算することができる。発展的な問題では、試行錯誤してなるべく簡易的な計算方法で問題を解くことができる。 c:式の値を求める問題に関心をもち、展開や因数分解の公式を用いて値を求めようとする。	定期考査 確認テスト	定期考査 レポート ワークシート 確認テスト	レポート グループワーク等の班活動 観察
2学期	第2章　2次関数	1　2次関数とグラフ 2　2次関数の最大･最小 3　2次関数の決定 4　2次方程式 5　2次関数と2次方程式	a:平方完成を用いてグラフの頂点やグラフの形を求めることができる。 b:2 次関数の最大・最小を求めるときに、場合分けをする問題ではどこで場合分けをするのか様々な見方をして、考察することができる。 c:２次方程式の解を求める問題では、２次関数のグラフとの関係を考え、グラフから解を求めようとする。	定期考査 確認テスト	定期考査 レポート ワークシート 確認テスト	レポート グループワーク等の班活動 観察
3学期	第3章　2次関数	1　2次関数と2次不等式 2　いろいろな最大･最小問題	a:　２次不等式の解を求める問題では、公式を用いて適切に処理することができる。 b:　２つの変数で表された関数の最大最小では、グラフを用いて最大・最小を考察することができる。 c:２次不等式の発展的な問題では、２次関数のグラフとの関係を考え、グラフから解を求めようとする。班活動等では様々な２次不等式に触れ、互いに理解を深めあおうとする。	定期考査 確認テスト	定期考査 レポート ワークシート 確認テスト	レポート グループワーク等の班活動 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度